

二千年
歴史が

ほつ

の
息づく
防府



2 〈特集〉すごいな!防府

- 2 防府天満宮
- 4 周防国分寺
- 6 毛利氏庭園・毛利博物館
- 8 東大寺別院阿弥陀寺

10 防府市の観光名所

- 10 周防国衙跡
- 11 玉祖神社
- 12 桑山
- 13 三田尻塩田記念産業公園
- 14 英雲荘
- 15 三田尻御舟倉跡
- 16 右田ヶ岳
- 17 富海
- 18 野島

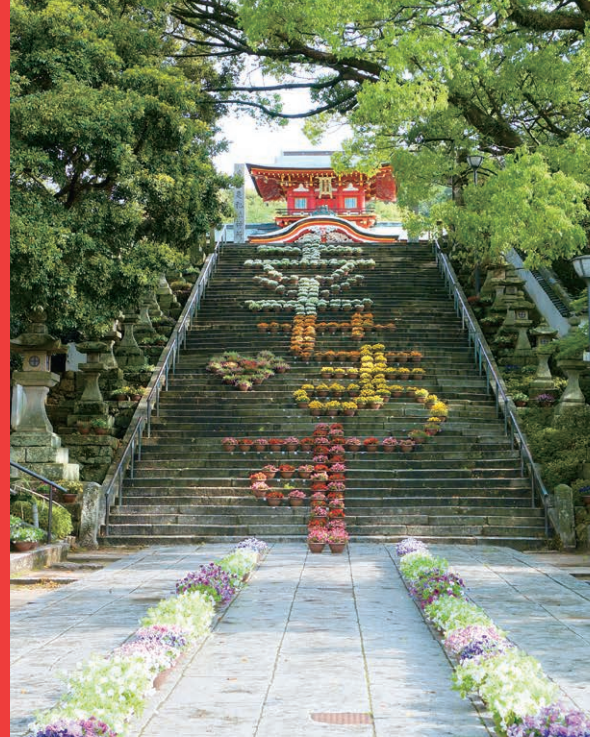
19 穴場スポット

20 イベントカレンダー・花ごよみ

22 うめてらす・お土産情報

23 主要アクセス

24 MAP



PHOTO

- 〈1〉春:防府天満宮の花回廊
- 〈2〉夏:東大寺別院阿弥陀寺のあじさい
- 〈3〉秋:毛利氏庭園の紅葉
- 〈4〉冬:周防国分寺の雪化粧

2	1
3	
4	

防府観光パンフレット「ほうふっ」

表紙について 「ほっ」:新緑の東大寺別院阿弥陀寺参道(6月)
「うふっ」:向島の寒桜「蓬莱桜」(3月)

発行日 2023年6月16日
発行 防府市役所おもてなし観光課
〒747-8501 山口県防府市寿町7番1号
TEL 0835-25-4547
印刷 大村印刷株式会社

見つけてください



と微笑んでしまうストーリー



とする癒しのスポット

まちのここかしこにある

ほうふてんまんぐう

防府天満宮

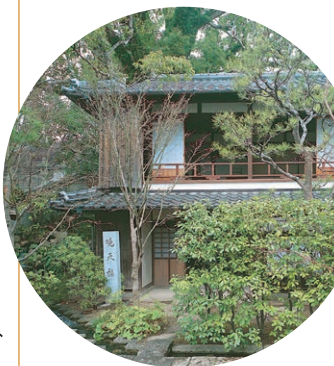
日本で1番目に創建されたと伝わる天満宮

1

すいぶんな！防府
SUGOINAI HOFU



「天神さま」と広く崇敬されているのが学問の神様・菅原道真公を祀る防府天満宮です。社伝では、道真公が亡くなった翌年の延喜4年(904年)に、時の周防国司であった土師氏が社を建立したのが始まりとあります。京都・北野天満宮(947年創建)、福岡・太宰府天満宮(905年創建)とともに日本三天神のひとつに数えられ、日本で最初の天神様と言われています。



だいせんぼう 大専坊

防府天満宮の大石段の左手にある大専坊。弘治3年(1557年)、毛利元就が大内義長を討った時の本陣、さらに幕末時に長州諸隊「遊撃隊」の本部でした。

ぎょうてんろう 暁天楼

元は天満宮門前宮市にあった宿「藤村屋」の離れで、高杉晋作などの志士達が密議を練ったと伝わっています。藤村屋の廃業で天満宮に寄贈されましたが、その後解体され、現在の建物は復元です。

しゅんぷうろう 春風楼

西日本屈指の荒祭り。年に一度(11月第4土曜日)御祭神・菅原道真公の御旅行で、天満宮で最も大きなお祭りです。当日は、夕刻より大勢の裸坊たちが御網代を引き、菅公御着船ゆかりの地勝間の浦(御旅所)までを往復します。翌日の日曜日には、天神おんな神輿の奉納が行われます。



境内は文化財の宝庫

ちよつとこころ

お茶室 芳松庵

菅原道真公はお茶に関する故実を調査、研究され世間に喫茶の習慣を広められ茶聖菅公と称せられました。菅公とお茶の深い関わりを後世に伝えるため、平成3年に建立されました。暁天楼は芳松庵の庭内に復元されています。拝観時間:9時30分~16時(休:12月31日) 拝観料:500円(お抹茶お菓子付き)庭園見学は無料

歴史館

国の重要文化財9点、県・市の指定文化財8点をはじめ、約500点もの宝物が収蔵されています。特に重要文化財「紙本着色松崎天神縁起」6巻は、破損や散逸のない完本として貴重な存在とされています。

主な文化財

紙本着色松崎天神縁起箱入附 紙本着色松崎天神縁起
金銅宝塔
浅黄糸威埴取鐘兜付
浅黄糸威埴
紫韋威埴
木造大日如来坐像
梵鐘
松蔭蔭絵文台視箱
木造獅子頭
国の登録有形文化財
防府天満宮本殿・幣殿・拝殿
春風楼



しゅんぷうろう 春風楼

萩藩十代藩主毛利斉昭が五重塔建立を計画したものの、藩の財政難により中断し、当初の木組みを活かしながら明治6年(1873年)に今の形で完成しました。



紙本着色松崎天神縁起

すおうこくぶんじ

周防国分寺

約100体の仏像を金堂などで拝観

100

すおうこくぶんじ
SUGOINAI HOFU
防府

本尊薬師如来坐像



天平13年(741年)の聖武天皇の勅願により国ごとに国分僧寺と尼寺が創建されました。続日本紀に周防国分寺に関する記載があることから、天平勝宝8年(756年)までには主要部分が完成したと考えられます。応永24年(1417年)に全焼し、同28年(1421年)に、大内盛見が金堂(本堂)を再建。後に安永9年(1780年)毛利重就により再建された現在の金堂は、天平創建期の金堂跡とほぼ同じ位置にあります。



0835-22-0996

全国初! 薬壺の中が判明

平成9年(1997年)からの金堂解体修理(平成大修理)の際、旧本尊の仏手が寺伝のとおり現在の本尊の胎内から発見されました。現本尊が持つ薬壺には15種類の薬や穀物、五輪塔が納められていることもわかりました。薬壺の中が明らかになったのは全国で初めてのことです。



薬壺と薬師如来の胎内にあった仏手



仏が導く ヒストリー

ちよつとこころで

ほっ

周防国分寺
金堂内の
重要文化財と
拝観すべし。



木造日光・月光菩薩立像



全国唯一「旧境内」

天平時代の創建当初の境内に現在も寺域が残っている国分寺は全国でも珍しく、昭和32年(1957年)、境内地が「周防国分寺旧境内」として、国の史跡に指定されました。全国の国分寺で「旧境内」がつく国の史跡はここだけで、約1200年の歴史を感じることができます。

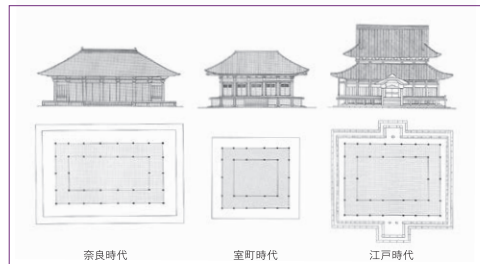


昭和28年(1953年)の発掘調査で塔の礎石が発見された。

■ 国分寺所蔵(国指定)

国の史跡	周防国分寺旧境内
	国分寺金堂
国の重要文化財	木造薬師如来坐像(附:木造仏手1箇)
	木造日光菩薩立像・月光菩薩立像
	木造阿弥陀如来坐像
	木造四天王立像
	紺紙金泥般若心経 後奈良院宸翰

■ 金堂(本堂)の変遷



奈良時代

室町時代

江戸時代

「火渡り」で
無病息災!
開運成就!

毎年11月に行われる「薬師大法要紫燈護摩」。火の中を素足で渡れば、ご利益をいただけます。



これぞ、旧公爵家

ここでしか見られない国宝

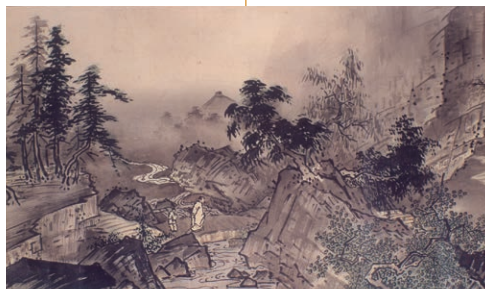
長州藩主であった毛利家には「倒幕の密勅」など明治維新関連の資料や平安時代以来の書籍・典籍類も残されています。国宝は雪舟筆「四季山水図」をはじめ4件7点、重要文化財は9件8,596点を有しています。邸宅の一部が毛利博物館となっており、特別展「国宝」や企画展で宝物を公開しています。

国宝 雪舟筆「四季山水図」

四季山水図は、雪舟芸術の最高傑作といわれ、一般には「山水長巻」の名で知られています。幅40.4cm 全長15.68m

最新設備が整った「近代和風建築」

この邸宅は、発電設備や上水設備、給湯設備、水洗トイレ、井戸水を利用した冷蔵庫など、大正当時の最先端設備を備えていました。内装や洋風照明器具などには、アールデコを取り入れるなどモダンな意匠が見られます。表門である薬医門は鉄筋コンクリート造りの柱の表面をケヤキの板で覆い、格式高い和風の佇まいを作り上げています。毛利邸は、意匠と技術を高度に結晶させた近代和風建築の粋ともいえる邸宅です。



雪舟筆「四季山水図」(毛利博物館所蔵)

■ 毛利博物館所蔵

国宝	紙本墨画淡彩四季山水図(雪舟筆) 菊造腰刀刀身無銘伝当麻 史記呂后本紀第九 紙本墨畫古今和歌集卷第八
主要な重要文化財	旧毛利家本邸 紙本著色毛利元就像 毛利家文書 色々威腹巻 兜、大袖、喉輪付 太刀銘備前國□□(伝友成) 大内氏勘合貿易印等関係資料 能装束 紅萌葱地山道菊桐文片身替唐織 紅地桐文散錦直垂
国の名勝	毛利氏庭園

もうりしていえん・もうりはくぶつかん 国指定名勝 毛利氏庭園・毛利博物館

【約25,000坪の風光明媚な日本庭園】

25,000

すげえな！防府
SUGOINAI HOFU

100年を超える歴史をもつ毛利公爵家の本邸は、大正5年(1916年)に竣工しました。平成8年(1996年)に国指定名勝に指定された毛利氏庭園は、庭園や本邸及びその他を含む83,957.13㎡の範囲におよびます。本邸の建物は、平成23年(2011年)に国の重要文化財に指定され、江戸期の大名邸の建築様式を継承した書院造の和風建築です。格調高い和風建築の設えが、吟味した材料と意匠で構成されています。

ちよっとこころ

ほっ

シャンデリア
優雅なデザイン
その精巧さに
注目！

公爵の
専用の
化粧の間



☎0835-22-0001

とうだいじべついいんあみだじ

東大寺別院阿弥陀寺

【心やすらぐ約4,000株のあじさい】

4,000

すいごうな！防府
SUGOINAI HOFU



源平の争乱で焼失した東大寺再建の大勳進・俊乗房重源上人は、周防国が東大寺再建の造営料国となった文治2年(1186年)に周防国衙のあった防府に下向しました。阿弥陀寺は、後白河法皇の現世安穩を祈願するとともに、東大寺再建や宗教活動の拠点である7別所のひとつとして、重源上人によって西暦1187年(文治3年)に建立されました。また、80種約4,000株のあじさいが境内に植栽されており「あじさい寺」としても有名です。



水晶五輪塔

鉄宝塔内に安置されていた高さ約14cmの全国最大規模の水晶五輪塔。中には、仏舍利7粒が納められています。



木造金剛力士立像

高さ約272cm、ヒノキの寄木造りで、鎌倉時代初期の特色がよく出た快慶一派に属する優秀作とされています。阿形像の頭部宝髻のほぞ、四面に応安2年(1369年)の修理墨書銘があります。

寺宝とあじさいに出会う古刹



鉄宝塔



金剛力士立像阿形



金剛力士立像叫形

国宝 鉄宝塔

国宝の鉄宝塔は、重源上人が願主となり建久8年(1197年)に鑄造されました。鑄工は、東大寺の大仏を鑄た当時の日本鑄師を代表する草部宿称是助・助延・是弘たちで、露盤および相輪は寛文2年(1662年)の修理銘があります。この宝塔は、鉄塔としてはわが国最古の遺品で、金工史上の優作であるとともに、銘文内容は歴史的意義も深く、中世金石文の中で最も高い価値を有するとして国宝に指定されています。



木造重源坐像

■ 阿弥陀寺所蔵

国宝	鉄宝塔 (水晶五輪塔共)
国の重要文化財	木造 金剛力士立像 木造重源坐像
重要有形民俗文化財	紙本墨書阿弥陀寺田島注文並免除状 鉄印 東大寺楯印 阿弥陀寺の湯屋

ちよつとこころ

湯屋と石風呂体験

「湯屋」は重源が設けた浴室。現在の湯屋は延宝年間(17世紀後半)に再興されたものを修理しています。「石風呂」も重源が人々の疲労回復などのために設けたと言われています。サウナのような石風呂。毎月第1日曜に体験できます。※問/阿弥陀寺



かわらけ投げ

素焼きの小さなお皿に願い事を書いて、舞台の上から輪(福輪)めがけて投げるとい願かけです。





玉祖神社

【たまのおやじんじゃ】

3915 083521
古式ゆかしい神事

周防国一宮

「周防国一宮」として崇敬されている玉祖神社。創建年は不明ですが、天平10年(738年)の周防国正税帳には、その名が記載されている古く由緒ある神社です。祭神は、延喜式神名帳には「玉祖神社二座」とありますが玉祖命のほかは不詳です。建久6年(1195年)には重源上人が社殿を造り替えています。

玉祖神社の社叢

玉祖神社の森4.333mに生育する植物を見ると、この地域が過去に沿海地と内陸地の接触地帯であったことを示しています。山口県内ではこの社叢と萩市樫島にしか生育していないキシウナキリスゲなどの希少な植物も見られます。



周防国一宮造替神殿宝物等目録

占手神事

仲哀天皇と神功皇后が熊襲を攻めた際に、軍の吉凶を占ったのがその起こりとされています。



宝石眼鏡の神様

御祭神の玉祖命が勾玉を作った神であることから、眼鏡等の供養を行う珍しい神社となっています。



国指定史跡

周防国衙跡

【すおうこくがあと】

周防国衙跡史跡公園に立つ国庁の碑
(幕末に建立。碑文中に「而して此の庁独り存す。」とある)



周防国の始まり



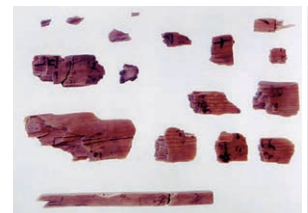
国の史跡、国府跡

周防国府は、大化改新以降に全国60余りに設置された国府の一つです。文治2年(1186年)から明治初年まではほぼ東大寺の管轄に属しました。全国の国府跡の中では最も早く昭和12年(1937年)に国の史跡に指定されました。

貴重な歴史遺跡

昭和8年、三坂圭治氏が著した「周防国府の研究」で、国府域(870m四方)、国庁域(218m四方)の古代の復元プランを試みて以来、周防国府跡は関係研究者の注目を集めました。防府市教育委員会により昭和36年から発掘調査が続けられ、国府は史跡指定時の復元プランよりさらに広く、その中で建物群が30か所以上発見されています。

出土した木簡



平成12年(2000年)、国司館推定地西の池跡から「達良君猪弓」へ支給物を記した木簡や周防国府に人



夫を進上した旨を記した木簡、27片の計帳歴名の下書きなど多量の木簡が出土しました。

現在、山口県と島根県の二帯にわずかに飼育されている貴重な日本鶏。独特な鳴き声は7〜10秒も長く続きます。社伝では玉祖命が天の岩戸の前で常世の長鳴鳥を集めて鳴かせたのが黒柏といわれています。



国の天然記念物
黒柏鶏

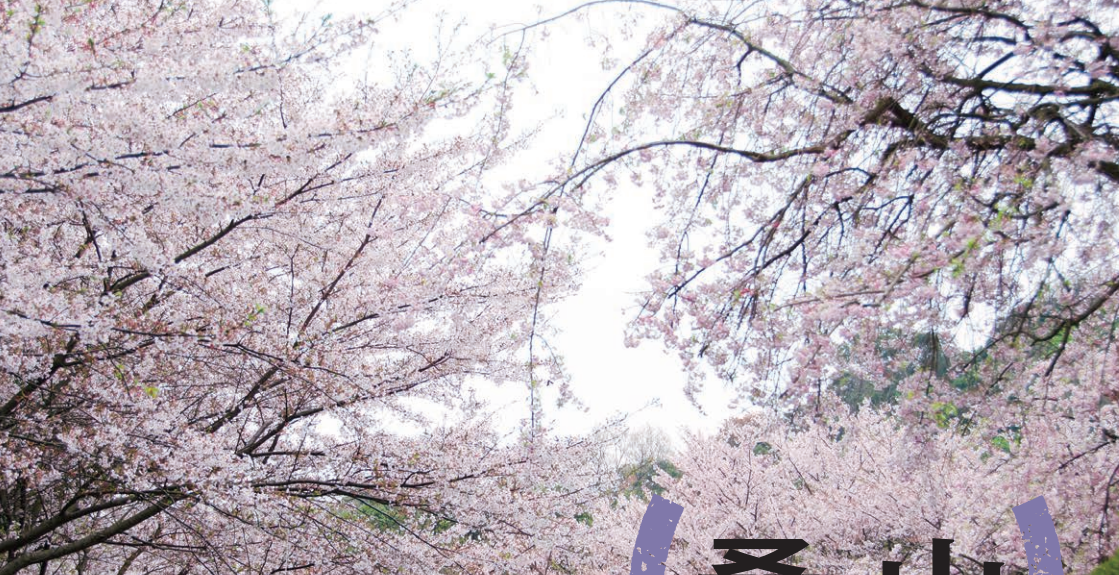


防府市付近は古来、「婆娑」と呼ばれていました。国府跡北側山麓の佐波神社の社伝には、仲哀天皇が祈願に立ち寄られたことや周防国惣社として代々の国司が参拝したと伝わっています。



佐波神社





三田尻塩田記念産業公園

【みたじりえんでんきねんさんぎょうこうえん】

桑山

【くわのやま】

☎0835・25・3510



藩の産業振興を
担った塩田の歴史が
息づく

市の発展の基盤に

藩の産業は、米・塩・紙・蠶の「四白」によって支えられました。中でも塩は多くが藩外へ出され、東北では塩のことを「ミタジリ」と呼ぶ地方もあったそうです。今では塩田跡に多くの工場が建ち並び、防府市の発展を支えています。

約260年続いた 三田尻の製塩

元禄12年(1699年)から三田尻での大規模な製塩が行われ、7代藩主重就公の頃には塩の生産36万石、瀬戸内海では赤穂に次ぐ大生産地となりました。三田尻の塩田は塩の干満を利用して海水を引き込む「入浜式」が主で、昭和35年(1960年)に操業を終えるまで、三田尻塩田は良質の塩を作り続けました。



枅築らんかん橋は、大浜に塩田が築かれた明和年間(1764~1772年)に入川に架けられた石橋です。



三田尻塩田旧越中屋金屋煙突

見て体験できる 塩田公園

公園では、昔の塩田作業の模型や様々な展示物等で塩の生産について学ぶことができます。同公園のシンボル高さ13.18mの煙突は大正初期のもので、塩水を煮る時の煙の排出に使われていました。

歴史の小山は
桜の名所



標高107.4m 市民の憩いの場

防府市の中心にこんもり盛り上がった小さな山が桑山です。毛利氏の築城候補地にもなったこの山はウォーキングコースとして、また春には約700本の桜が楽しめるお花見スポットとして親しまれています。

維新の若者らの 魂が眠る

明治3年(1870年)、桑山中腹に幕末・明治時代初めに戦死した100余人の招魂碑が建てられました。この辺りは長州藩の御桶隊の演習場があった場所で、隊の中心人物、山田顕義の揮毫による招魂碑もあります。南麓には、正五位が追贈されたことを機に、明治26年(1893年)建立された野村望東尼の墓があります。



来目皇子仮埋葬地

聖徳太子の同母弟、来目皇子が新羅出兵の際に筑紫で薨去された時、この山頂に仮埋葬された場所とされています。



立木観音

江戸時代中期、この場所を訪れた木喰五行上人が、生きたイチヨウの木の中に観音像を彫られたと伝えられています。この観音像は一生に一度だけ願いが叶うと言われ、今もお参りする人が絶えません。

公園では、往時の入浜式で「三田尻塩」を作っています。この工程の一部を体験できます。また、(国指定重要有形民俗文化財)入浜式製塩用具の収蔵庫があります。塩作り体験・4月~10月/個人~40名程度/7日前までに要予約



体験
できます！
昔の塩作り



極楽寺
防府市岩島2-19-1

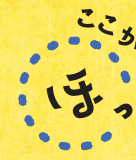


定念寺
防府市宮市町9番29号



立木観音

木喰上人が
彫った
木喰仏の数々。





国指定史跡（萩往還関連遺跡）

三田尻御舟倉跡

【みたじりおふなぐらあと】

毛利水軍の根拠地



御舟倉は海軍局へ

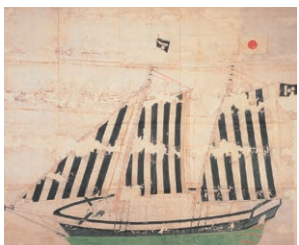
「御舟倉」とは藩主が乗る御座船などがあつた毛利水軍御船手組の根拠地のこと。慶長16年(1611年)、三田尻に移された御舟倉は、周囲に造船や修理のための施設が設けられました。江戸時代半ばからは、干拓も進み御舟倉と海は水路で繋がる形となりました。文久3年(1863年)藩は、三田尻御舟倉を廃止し「海軍局」を設置しました。



三田尻御舟倉差図 嘉永4年(1851年)毛利家文庫山口県文書館蔵より
現在残っているのは「通堀」あたりと思われます。

高杉晋作の急襲

元治元年(1864年)、存亡の危機にあった長州藩。この状況に憤慨した高杉晋作が下関関山寺で決起します。同調した伊藤博文ら僅かな人数で三田尻海軍局を急襲し、洋式軍艦を手に入れました。



丙辰丸之図(山口県文書館所蔵)

三田尻を進発し、幕長戦争を勝利に

慶応2年(1866年)6月に幕長戦争(四境戦争)が始まると、高杉晋作は藩の海軍総督として本艦・丙寅丸を率い三田尻を進発。幕府艦隊を奇襲し、それまでの戦況を覆しました。高杉晋作は前年の5月に独断で、アームストロング砲を搭載した丙寅丸を購入していました。



国指定史跡（萩往還関連遺跡）

英雲荘 (三田尻御茶屋)

【えいうんそう(みたじりおちゃや)】

萩藩の公館

☎0835237276



命名「英雲荘」

県内の御茶屋で唯一残る三田尻御茶屋は承応3年(1654年)、2代萩藩主毛利綱広が設けた藩の公館。その後7代藩主の重就が天明3年(1783年)に大規模な改築を行い移り住み、晩年の6年間を防御で過ごしました。明治期に公爵毛利元昭公が居住、昭和14年(1939年)毛利家から防府市に寄付された後、7代藩主重就の法名に因み「英雲荘」と命名されました。

幕末の歴史の舞台

「八月十八日の政変」と呼ばれる文久3年(1863年)のクーデターで萩藩が京都を迫られた時に、同調していた三条実美ら7人の公卿が落ちのびてきたのが「七卿落ち」です。この七卿がおちつたのがここ三田尻御茶屋の大観楼とされています。

薩長同盟と討幕の密勅

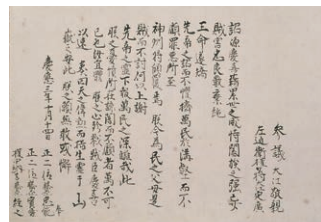
薩長同盟が結ばれた翌年の慶応3年(1867年)10月14日、徳川慶喜の大政奉還。「討幕の密勅」が薩長二藩に下り、21日西郷隆盛は小松・大久保らと三田尻に到着しました。23日、毛利敬親父子に謁見し長州宛の討幕の密勅を届け、24日、鹿児島に向けて出航しました。

招賢閣

七卿の滞在により、多くの志士たちが集まり会議したとされる招賢閣は、三田尻御茶屋内に設置されていました。英雲荘2階にある絵からもその当時の様子が伺えます。(複製、原本は毛利博物館蔵)



松本楓湖作「招賢閣相見図」(毛利博物館所蔵)



討幕の密勅(毛利博物館所蔵)



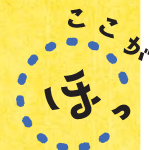
住吉神社の石造燈台



海上交通の安全祈願のため、正徳5年(1715年)に御舟倉へ続く入川の河口に勧請された住吉神社の境内地に高さ7.27mの灯籠型の石造燈台が文久3年(1863年)建立されました。長州藩の海上交通の安全に寄与した交通遺跡。



庭屋一如の空間



平成8年(平成23年)に建物の保存修理工事、平成23年(令和3年)に庭園整備工事が行われました。江戸期の佇まいを色濃く残す大観楼の数寄屋空間と大名家の庭園が織り成す心安らく空間です。



【富海】

【とのみ】

人と情報が 行き交った 飛行船の 発着港



飛ぶように速い船 「飛船」

18世紀末に誕生した飛船は、小型の和船ながら天気や風向きが良ければ大阪まで数日で着くという快速ぶりが人気でした。江戸時代末には徳山藩の御用もつとめ、幕末には吉田松陰や高杉晋作なども利用したと言われています。

幕末が息づく 大和屋政助船蔵

飛船問屋・大和屋政助は勤王の志が篤く、志士の活動を援助し、海上輸送にも尽力しました。元治元年（1864年）には藩内の反対派に追われる高杉晋作を飛船に乗せ、悪天候の中、下関に送り届けました。追手は翌朝富海に現れ、晋作は危機一髪で逃れることができたと言います。現地にはかつて船材や修理道具などを保管していたと考えられる船蔵が残っており、当時をしのばせます。元治元年（1864年）、長州藩が諸外国相手に攘夷を決定した報復攻撃が計画されていると知り、留学先のロンドンから急ぎ帰国した伊藤博文・井上馨が身を寄せたのが富海の飛船問屋・入本屋でした。



ことね 琴音の滝

鮎子川の中腹にある滝。伊藤博文や井上馨が富海で狩猟していた折りに聞いた滝の音から名付けられたとも言われています。大平山の東側から続く遊歩道は、ハイキングコースにもなっています。



登山客を 魅了する 岩峰



右田ヶ岳・田園 ・歴史が調和

防府市街の北に位置し、かつての佐波川水運・山陽道・萩往還・石州道が通る交通の要衝、右田地区。毛利元就の七男元政を祖とする右田毛利家は、毛利一門として代々萩藩の要職について活躍しました。右田ヶ岳・田園・歴史が融合した景観は必見！

【右田ヶ岳】

【みぎたがたけ】

登る楽しみが増える 登山ルート

花崗岩の巨岩が露出し特異な景観を見せる右田ヶ岳。標高426mと低山ですが、いくつかの起伏に富んだ登山ルートがあり、勇壮な山容やゴツゴツとした岩肌の美しさが登山客を魅了しています。ルートの途中には岩に彫られている33体の観音像や右田ヶ岳城跡などもあり、登るだけではない楽しみ方もできます。山頂からは防府市が一望でき絶景です。



おすすめ3コース

右田ヶ岳には、塚原コース、天徳寺コース、塔之岡コースがあります。どのコースも登山口から1時間20分程度で山頂へ着き、トレッキング感覚で楽しめます。右田ヶ岳は市街

地からも主要道路からも近く、登山口付近には駐車場も整備されており、まちなかの登山スポットとして人気が高まっています。



清水家
住宅主屋
(国登録有形文化財)



清水家住宅主屋は旧山陽道沿いに立つ町家で、正面は漆喰塗で軒の持ち送りに特徴があります。旧山陽道の宿場町だった富海の景観を今日に伝える貴重な建物です。



右田ヶ岳
三十三
観音巡り



天徳寺コースを登っているとき見える、岩に彫られた観音像。33体の観音摩崖仏は、地域の人々や地元企業によって整備され守られています。

穴場スポット

1 山頭火ふるさと館
☎ 0835-28-3107



全国行脚しながら数多くの句を詠んだ、自由律俳句の代表的俳人・種田山頭火。「山頭火をうたい、山頭火にしたしみ、山頭火をつたえる」をテーマに、句や書等を通じた顕彰の施設です。また、自由律俳句の拠点として、人々の交流や山頭火とそのふるさと防府市に関する様々な情報を提供しています。



山頭火ふるさと館

2 大日古墳 (国指定史跡)



大日古墳は、飛鳥時代(7世紀中ごろ)の前方後円墳とされ、入り口から奥壁まで13.2mを測る県内最大級の石室を持つ古墳です。奈良県明日香村の岩屋山古墳の構造と似てるとされ、当時の畿内中枢部と繋がりを感じさせます。内部に安置された兵庫県竜山石製の家形石棺は必見です。大内氏の祖といわれる百済の琳聖太子の墓という伝承があります。

3 鉄道記念広場



防府駅から西へ350m、SL機関車が設置されている広場です。三田尻(防府)～堀(山口市徳地)間で運行していた防石鉄道(大正8年～昭和38年)で使用された車両です。
ドイツハウス社製(明治27年)
●長さ7.8m ●幅2.4m
●高さ3.6m ●重量23.1t
やまぐちビューナビ



やまぐちビューナビ

4 敷山城跡 (国指定史跡)



防府市牟礼の矢筈ヶ岳(標高460.9m)の八合目付近にある敷山城跡は、延元元年(1336年)、後醍醐天皇に味方して周防国衛の役人達が挙兵し、足利尊氏が派遣した軍勢と戦った場所です。城は、当地にあった験観寺の寺坊を利用したとされています。



たびたびほうふ

5 大平山山頂公園
☎ 0835-38-0762(山頂公園事務局)



防府市最高峰(631.3m)の大平山。山頂付近は、公園として整備されており、ご家族で楽しめます。山頂から見渡す防府平野や瀬戸内海の大パノラマは、気分もリフレッシュできる場所です。5月頃には約10万株のツツジが咲き誇り、大平山を彩ります。

6 春日神社
☎ 0835-38-1185



文治2年(1186)藤原氏が奈良の春日大社のご分霊をおまつりされたと伝えられています。大寒の日に冷水につかり心身を清め、無病息災を祈る行事「大寒みそぎ」は毎年の参加者も多く、また、一の鳥居近くにある一本桜は「ハートの桜」として人気を集めています。



春日神社



野島

【のしま】

島へ 船で30分!
国立公園の

☎ 0835・34・1500
(野島漁村センター)



豊かな海に囲まれ釣りファンにも人気
三田尻沖に浮かぶ野島は瀬戸内海国立公園の一角に位置する美しい小島です。エビ、カレイ、イカ、アジ、タチウオなどが水揚げされる豊かな漁場に恵まれ、釣りファンにも人気です。

楽しみ方いろいろ
ひと足伸ばして島へ!

野島は防府市の南東14.8kmに位置し、周囲は3.4km。100人ほどの人が暮らしています。人が住み始めたのは鎌倉時代から安土桃山時代と言われています。かつては全島がツツジに覆われ、開花の頃には海まで赤く染まって見えたことから「茜(あかね)島」の別名もあります。魚や郷土料理を販売する浜市や海水浴、釣りなどを楽しみに多くの人が訪れます。本土からは「レインボーあかね」「レインボーのしま」で30分。ちょっと足を伸ばしてみませんか?



津久美浜海水浴場の東側からは、徳山湾・笠戸湾の美しい島々を眺めることもできます。海水浴場の近くには無料キャンプ場も整備されています(要予約)。※(問)野島地域自治会連合会 0835-34-1610

■ アクセス

JR防府駅から小田港行きバス「三田尻港入口」下車
定期船で三田尻港～野島港(30分)1日4便

定期船運賃(片道)	大人760円、 小人(小学生)380円 <small>※2020年4月時点</small>
問い合わせ先	有限会社野島海運 0835-34-1313

神楽は海から
野島の矢立神社で5年ごとに行われる「御年祭(五年祭・式年祭)」では、明治時代から周南市和代の「三作神楽」(国の重要無形民俗文化財)一行が船でやってきて海上と神社で神楽を奉納。2日間の祭りが終わると海を渡って帰っていきます。



4月

春の幸せますフェスタ (中心市街地一帯)

玉の祭・占手神事 (玉祖神社)

5月

佐波川こいながし (小野水辺の楽校)
佐波川こいわし (本橋付近)



6月/防府航空祭



8月/防府天満宮花火大会



10月/花神子社参事

11月

御神幸祭<裸坊祭> (防府天満宮)
国分寺まつり (薬師大法要) (国分寺)
月の桂の庭特別公開 (月の桂の庭)
すごいぞ!防府秋の大イベント (毛利氏庭園ほか)



11月/御神幸祭(裸坊祭)

12月/笑い講

3月

梅まつり (防府天満宮、うめてらす)



12月/防府読売マラソン大会

12月

冬の幸せますフェスタ 光と音のページェント (中心市街地・らんかん橋)
防府読売マラソン大会 (市内公認マラソンコース)
笑い講 (大道)

1月

初詣 (市内)
大寒みそぎ (春日神社)

2月

節分祭・牛替神事 (防府天満宮)

「ほっ」とするお祭りや「うふっ」なイベントが季節で楽しめます。
<ほうふ> イベント カレンダー
QRコード
たびたびほうふ

8月

防府天満宮花火大会 (防府天満宮)



7月/三田尻の女尻相撲大会



9月

宇佐八幡宮例大祭<腰輪踊り> (宇佐八幡宮)
玉祖神社例大祭<占手神事> (玉祖神社)

10月

花神子社参事 (防府天満宮)
愛情防府フリーマーケット (中心市街地ほか)



11月/すごいぞ!防府秋の大イベント

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月<春>

桜 防府天満宮・向島運動公園 新築地緑地・桑山・毛利氏庭園 (3月下旬~4月上旬)
エヒメアヤメ 西浦 (4月中旬)
しゃくなげ 宇佐八幡宮 (4月中旬)
あやめ 毛利氏庭園 (4月下旬~5月中旬)
青もみじ 毛利氏庭園 (4月下旬~6月上旬)

5月<春>

つつじ 大平山・毛利氏庭園 (4月初旬~5月中旬)
芝桜 佐波川左岸 (4月中旬~5月初旬)
サツキ 毛利氏庭園 (5月下旬~6月上旬)
すいれん 毛利氏庭園 (5月~7月)
ふじ 毛利氏庭園 (4月中旬~5月初旬)



11月の桜/春日神社 (3月中旬~下旬)

6~8月<夏>

しょうぶ 護国寺・毛利氏庭園 (5月下旬~6月上旬)
あじさい 東大寺別院阿弥陀寺 (6月上旬~下旬)
さるすべり 周防国分寺 (7月中旬~10月中旬)
たいざんぼく 毛利氏庭園 (6月上旬~7月上旬)



あじさい/東大寺別院阿弥陀寺 約4,000株

9~11月<秋>

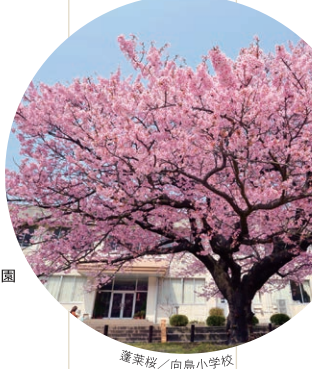
彼岸花 佐波川右岸 (9月中旬~下旬)
紅葉 毛利氏庭園・防府天満宮芳松庵・東大寺別院阿弥陀寺 (11月中旬~11月下旬)
イチョウ 天徳寺 (10月中旬~11月中旬)
さざんか 毛利氏庭園 (10月中旬~2月中旬)
つばき 毛利氏庭園 (10月中旬~11月末)



梅/防府天満宮

3月<春>

防府市向島の寒桜 (蓬萊桜) 向島 (3月上旬~中旬)



蓬萊桜/向島小学校

<ほうふ> 花でよみ
季節を感じる「うふっ」な花たちで、「ほっ」とできる花の名所。
※気象条件により開花時期が変わることがあります。

1~2月<冬>

梅 防府天満宮・毛利氏庭園 (2月上旬~3月上旬)
つばき 毛利氏庭園 (1月下旬~5月上旬)

いろいろな旅行スタイルに
これ! 便利!
合わせて利用すれば、楽ちん!

路線バス

Table with bus routes: JR防府駅でんしんぐち発着系統, 防長交通(防府営業所), 中国JRバスお客様センター

※運行情報は各事業所にお問い合わせいただくか、HPをご覧ください。

タクシー

Table with taxi companies: 日の丸タクシー株式会社, 防府構内タクシー株式会社, 日名内タクシー有限公司

レンタカー

Table with rental car companies: トヨタレンタリース防府店, タイムズ カーレンタル防府駅前店, パジェット・レンタカー防府店

レンタサイクル

Table with rental bike services: 防府市観光案内所, 防府市まちの駅うめてらす, サイクリングターミナル

ACCESS



防府市とは

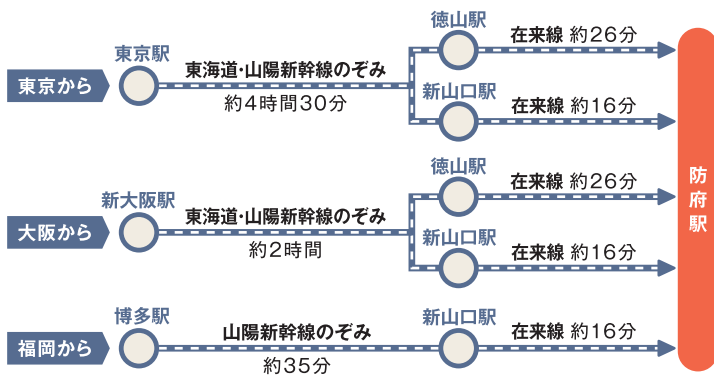
山口県の瀬戸内海側の
県中部に位置する防府市。
歴史文化、自然、芸術、スポーツ…
豊かな資源を有する都市。
飛行機、鉄道、
高速道路などの
交通アクセスが良く、
山口県内外から
訪れやすいのが魅力です。

防府市へのアクセス

飛行機



鉄道



まちの駅 うめてらす

防府の観光はここから出発！
名所への観光の情報拠点として
気軽にご利用いただけます。

特産品・おみやげコーナー
防府の特産品や
幸せますグッズを
多数取り揃えています。

カフェスイートホーム
見て・食べて美味しい、
メニューが豊富。

休憩・展示・情報拠点
防府の観光の全てが
ここでわかります。

防府市まちの駅
うめてらす

③ 防府市松崎町1-20 ④ 0835-28-0500 ⑤ 9:00~20:00 (売店は18:00まで) <https://ume-terrace.jp/>

旅のお食事 旅のお土産

防府市内の
料理人有志で結成された
「はも塾」加盟店では、
防府ブランドの二つ「天神鱧」を
いろいろな料理で楽しめます。

極上 黄金竹輪
旨味が凝縮した
極上ちくわ
⑤ (株) 岡虎

ほうふ外郎
ふんとした食感で美味
⑥ (有) ほうふ外郎本舗

白銀(かまぼこ)
やみつきになる防府のかまぼこ
④ 白銀本舗
(株) 杉本利兵衛本店



p.16 右田ヶ岳

p.19 敷山城跡

p.8 東大寺別院阿弥陀寺

p.19 大日古墳

p.19 春日神社

p.19 大平山山頂公園

p.19 山頭火ふるさと館

p.2 防府天満宮

p.4 周防国分寺

p.6 毛利氏庭園・毛利博物館

p.11 玉祖神社

p.22 うめてらす

p.19 鉄道記念広場

p.10 周防国衙跡

JR山陽本線

p.15 三田尻御舟倉跡

p.14 英雲荘(三田尻御茶屋)

p.12 桑山

p.17 富海



p.13 三田尻塩田記念産業公園

p.18 野島

維新発動
の地防府

うぶっ

